

令和3年 第2回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年10月18日（月）午前9時30分から午前10時30分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 佐 藤 嘉 彦

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 徳 田 秀 一

学校教育課 指導主事 黄川田 泰 幸

課長補佐 矢 幅 泰 子

政策推進課長 川 崎 欣 広

係 長 吉 田 耕 大

主 任 岡 本 麗 理

5 傍 聴 者 な し

6 挨拶

猿子町長：改めましておはようございます。

第2回目の雫石町総合教育会議にご出席賜りまして心から感謝申し上げます。また日頃は本町の教育行政に対しまして多大なる皆様からのご助言、ご指導をいただき厚く御礼申し上げます。

おかげさまで何とか学校関係のコロナについても切り抜けた所で安堵しているところでございますが、子ども達にはまだワクチンを打たれていない方が多いということで予断を許さない状況です。

そうした中、本町の教育につきましては皆様方、また教育長のご尽力により今も現状続いております。私にとりましても町の財産は子どもである。子どもが少ないのが非常に気持ち苦しいところですが今、現状の中の子どもたちをどうやって大事にそして学力をはじめ成長を上手く促していくかということを訴えて参りました。

予算についても子どもには削るようなことなく、できることは全てやっていくこと。今も政策の中で打ち出したいと相談しておりますが、やはり町を守っていくのは今の子どもたちだということ念頭に思っております。学力もそうですが、やはり人間性そしてふるさとの愛着性をなんとか子どもたちに受け継いで、そして子どもを増やすような形で、これは政策の中ですぐにできるわけではないですが、子どもを産む政策、育てる政策、将来の重石を担う子どもたちの政策というものを今後打ち出して行きたいと思っておりますので、どうか一つ教育委員の皆様方にもその辺をご理解いただきながら今後の政策にもご助言をいただければと思う次第でございます。

本日の議題は事務事業進捗状況でございますので、どうかご忌憚のないご意見を頂戴しながら我々もそれに沿っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げて冒頭の御礼の挨拶といたします。

佐藤教育長： おはようございます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は町長、副町長をはじめ教育委員の皆様にもご出席をいただき総合教育会議という場を設定していただきまして誠にありがとうございます。また日頃より本町の教育に対し、貴重なご意見、ご協力、ご指導をいただいておりますことに教育委員会として深く感謝申し上げます。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症に関しては、今年度に入ってから児童生徒及び家族等のコロナ感染によって止む無く休校措置をとった学校もありましたが、現在はおかげさまで子どもたちも元気に学校生活を送っており、教育活動も順調に推移しております。本日の総合教育会議ではこれまでの前半の教育施策について進捗状況をご説明させていただきますので、後程今後に向けて率直なご意見、ご感想、ご指導いただければ幸いです。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

7 議 題

(1) 事務事業の進捗状況について

【(1) について教育長より説明】

町長： ただいま、教育長から上半期の説明がございました。
この件につきましてご質問、ご意見等あろうかと思いますが、御一方
ずつお聞きします。

岩持委員： 学校給食についてですが、町内の農畜産物の使用割合は現在、何パー
セントぐらいでしょうか。昔はお米も雫石町内のものでした。それが今
は全部町内のものになり野菜や肉など何パーセントでしょうか。

教育次長： 昨年度の野菜で町内産を使用している割合は、35.7%です。その
前の年が37.7%で若干、2%ほど落ちましたが御明神小学校の給食
棟の工事がありましたので、その辺りで若干減りました。そのぐらいの
割合で推移しています。

吉田委員： 不登校やいじめの関係ですが、この前も新聞等で全国的に不登校など
が増えているということで各都道府県や市町村で内容も違ってくると
は思いますが、だいたい子どもたちは無気力や生活リズムの乱れ、親
子関係ということでしたが、雫石の現在の子どもの状況は内容が
様々だと思います。子どもたちとのコミュニケーションだけではなく親
御さんとも必要になってくるかと思えます。先生方もお忙しいと思いま
すし親御さんからの面談は難しいかもしれませんが、コミュニケーション
を取っていただいて、長引くと学校に出てきづらい状況になると聞い
たりもしていますので、早めに子どもたちが出て来る状況にお願いでき
ればと思います。

また、中学校の部活動では町や教育委員会から移動の際、いつもバス
を早朝から出していただき恵まれているなと思ひ感謝しております。

指導主事： 県内の学校の様子を見ましても不登校は増加しております。全国と同じ
傾向にあります。これは非常に課題意識を強く持っているところで
した。その要因は多種多様です。特徴的なものとして見られるのは吉田委
員さんおっしゃったように気力の減退がどの生徒、小学生においては6年
生高学年に見られるところがあります。それから親との関係ももちろんそ
の通りでした。親子関係で原因になっているのも見られます。非常に今、
現代の特徴が出ているのかなというのがあります。あとはこれが原因だと

一つとは言い切れないところがあります。様々な要因があって、ある日どこか引き金になる出来事があり学校に行けなくなると、そういうところが特徴があるようです。ですから解決というのは簡単にはいかない。吉田委員さんがおっしゃったように早期に丁寧に手を掛けて解決しなければいけませんので早期かつ丁寧に、しかも学校だけではなかなか厳しい面がありますので、それこそコミュニティスクールの話もありますし様々な方面手を尽くして当たって行かなければならない、なかなか難しい課題であるということです。

菅原委員： 私は1ページ目のICTについてですが4月頃、業者さんにより進み具合が悪いということでしたが現在どの程度まで改善したのかということが一つと、他県で配布されているタブレットを使用してSNSでの悪口やいじめに繋がったというのがあったようです。今の段階ではとにかくどんどん使いましょうということで活用についてはこれから研修などをして行く段階だと思いますが、将来を見てそういうものを通してのいじめがあってはせっかく予算を掛けてやったのがなんだかなということになってしまうので、そうならないような各校でたぶん当然検討して実施されているところもあると思います。その辺、力を入れていただければなと思います。

指導主事： 町内の配備状況ですが完備いたしまして業者の方も全て整いまして、授業ではちよくちよく使っているような状況です。今の課題点はどのような所かと言いますと一つは授業でどのように効果的に使うかという実践面が1つです。2つ目は物理的なことが問題になってきまして回線の速さが追い付かない学校が見え始めています。改善について今後大きな課題になってくると思います。道徳的なところ情報モラルについてですが、町田市の件は我々も非常にショックを受けています。整備を性急に過ぎたが故の課題かなと見えています。ICTの活用はじっくりいかないとやはり子ども達ですので判断が上手くいかないままに道具を与えられてそこで指導が追い付かないと、ああいうことになってしまうだろうと思っています。ここに関して時間はかかりますが折に触れて子ども達の心を育てながら活用も進めて行く、両輪にして行かないと非常に危ないところはあります。サイトに関してはフィルタリングを掛けておりますので有害なサイトに行かないようになっておりますが情報のやり取り発言を見ることはできますので、そこに関して先生方がどれくらい目を見張るのかあるいは心を育てるかということがやはり今後、引き続き課題になってきます。これはもちろん各個人のスマートフォン利用についても課題として上げられていますので、それと深く関わってくると思います。

千葉委員： 教育委員ということで教育行政に携わらせていただいた者として先程、町長の挨拶の中で教育に関してできることは全てやるという挨拶をいただき本当に心強く思いますし、町長、副町長が普段から教育行政に非常に目配りをしていただいていることに対し本当に感謝申し上げたいと思いま

す。ありがとうございます。そこでちょっとずれる部分もありますがこの前、回ってきました広報しずくいしの令和2年度決算状況の中身を拝見した時にふるさと納税が前年度3千万円だったのが1億4千万円になり非常に大きな納付をしていただいている。町の職員のアイデアも含めて全国に発信している成果なのだろうなということで本当にありがたく思います。その中で使い道が雫石の子育てや教育に使ってほしいというパーセントが非常に多かったということで、町内の皆さんも雫石の将来に対して子ども達に期待するというのが本当に町長ではないけれども目に見える表れなのかなと私は思いました。そういう所でぜひお願いしたいわけですが今、教育長の説明の中で一つ私的に思ったのは公営塾の関係です。雫石高校の生徒数激減については悩ましいなとは思いますが、難しいというのが現実だと思います。公営塾を夏休み中、実施した状況を拝見すると成果が上がっているのかなという感じがします。しかし、もう少しこの成果を目に見える形にしたいなというのが本音だと思います。そこはもう少し知恵を出し合って参加する生徒さんの増加がどのようにするかということが今後の課題だと教育長さんもおっしゃいましたが、そこを皆で知恵を出しながら公営塾の実数やそれからもう一つ地域住民に対する情報提供をもう少しやっても良いのかなと。雫石高校便りというものの回覧で来ますがそこも含めて親御さんに対するPRを浸透するような形で何かないのかなというのを感じている一人でありまして、そういう所を皆で知恵を出し合ってここを高めて行けば雫石高校の存続、生徒数、そして今の流れとして大学進学を望む親御さんが多いのが実態だと思うので、そういう所も含めて数字が見えてくれば必ずや良い方向に行くのではないかと私は思う一人ですので、そこをよろしくお願いしたいと思います。どのように考えているかも含めて、ご意見いただければと思います。

町長： 私からです。ふるさと納税について返礼品の品種を相当増やしました。アンケートを見ると子ども達や教育のため、あとはどちらでも良いというのは教育や子どもに使う良いものですから、これを私はほぼ使いたいと思っています。というのは子どもが少なくなっている。これをなんとか増やす政策、結果的には結婚から始まります。財源はふるさと納税から始まって幼稚園、小学生、中学生、高校生まで手の届くところまで全部やって行きたい。いずれ高校もそうですが、とにかくあまりルールに上がったことをやっても絶対増えないです。何か爆発的なことをやらないとだめです。北海道ではやはりあります。海外へ行かせ毎年マスコミに流します。だからやっぱり何かそういうのをその他に何かあったらやった方が良くと思っています。

教育長： 修学旅行ですが昨年、私立高校に学校訪問した時に校長先生から本校は毎年、修学旅行は海外だとコロナで行けない年もあるけれど、そういう意味では高校3年間結構お金が掛かると、私立高校に入るのはいいいけれども

やはり金銭的な部分も十分に考えて入学してもらいたいです、という話をされてきました。そういう意味では保護者負担を援助していただければ、非常に保護者も普通の日本国内の修学旅行の金額を負担しただけで海外に行けるという得策が目に見えてくるのでぜひ、進めて行きたいなと私も考えております。それから公営塾は中学校の参加が今年度は10名ほどの参加希望でした。私がこの前見に行った時は中学生が5名参加しておりました。10名の子ども達は雫石高校に入るかということそれはまだ確約もできないですし、ただ参加していた子ども達にちらっと聞いたら家に一人であるよりは友達と一緒に勉強していた方が能率は上がるんですという子がいました。高校生では私は専門学校に入りたいので夏休みに少しでも勉強したくて参加していましたという子どももいました。ですから中学生も高校生も目標を持って公営塾に参加している子ども達なのだとこのことを改めて感じましたので、ぜひこのように目標を持たせて公営塾等にもこれからも参加させたいなと思っています。ちなみに11月には高校の先生が中学校に出前授業をして中学生に高校の授業を披露すると。同じく11月には中学校3年生が雫石高校に全員行き雫石高校の生徒、先輩達の授業を見るという交流をこれから予定しています。そうやりながら進学も含めて雫石中学校と雫石高校のラインを太くしていきたいなと。私も7月からお世話になってますのでまずは校長先生と話をしながらちょっとお時間かかるかもしれないですが、気持ちも焦っておりますのでどうぞご理解いただいで頑張って参りたいと思います。以上です。

副町長： 進捗状況について説明いただきましたが、私が担当していた7、8年前と比較してすごく体系的にもなっていて分かりやすい説明でしたし、あとはいいところ見つけプロジェクトも含めて確立されてきているなと思っています。7、8年前から会議も総合教育会議もそういう制度になってきているのですごく分かりやすいなと思っていました。私からはここに載っていないですが教育施設、教育環境の施設の状況について共有したいと思っていましたので、ここには出てきていませんが例えば教室の状況はどうなったとか、ここはどうなったか、危険箇所はないか、そういうところのまとめたものを下半期に当たってまとめていただいて当初予算の中に出せば出してもらいたいし共有しながら、一つ例を挙げればセミナーハウスもそうですがどういう活用方法を取るのかとか、教育施設として放って置かないでなんとか地域で使えるよう模索できないかそういうことも教育会議の中に出していただければ検討できるのかなと思いますので、その辺一つよろしくお願ひしたいと思います。

教育次長： セミナーハウスの活用については宿題をいただいておりますので時期活用を含めて検討したいと思いますし、学校によっては統合していない学校は結構古い机やイスもあります。そういう整備も必要だと思っていますので、その辺は一覧をまとめていきたいと思っています。

町長： それでは最後に私から一点、黄川田指導主事に聞きたいことですが、不登校についてですが例えば考えられるのは家庭のいざこざちょっとしたいじめ、そこから始まる。それから非常に今、気にしているのはゲームですがゲームの時間帯がすごく増えているらしいです。ただこれが不登校の一つの原因になってくるかどうかというのが1点と、未来の風せいわ病院の智田先生と話をした時に今、ゲームから依存症になり、やめられない子どもが激増して増えています。ですからこの辺も相当注視して。孫から聞くとその学校によって2時間なら2時間、1時間なら1時間という保護者の、学校ではおそらく時間帯まで出してはいないと思いますが、やはりこの辺も研究しないとおそらく100%ぐらいゲームは。特にタブレットやIT関係をやっているのでゲームに関してはものすごい学校でゲームを教えるようになっていきます。やはりそういう所を今後、気を付けて行っていただければと思います。以上です。何かご質問等ありますか。よろしいですか。それでは議題を終わります。

8 その他

政策課長： ありがとうございます。それでは次第4その他になりますが、皆様から全体を通して何かありましたらお願いいたします。

千葉委員： 議題からちょっと離れる部分で報告をしたいのですが、先週14日木曜日所用があり盛岡に出ました。エンジョイパスポートの発売に50人以上が列をなしており整理券で私は購入できませんでしたが、改めて雫石のエンジョイパスポートの魅力を感じました。発想も良かったし予算も使うわけですが関心があるのだなと感じましたので、町の皆さんの素晴らしいアイデアがこのように生きている訳なので、ぜひ今後とも皆さんの力を揃えて教育行政もやれば行けば良いなと思いましたので報告させていただきます。

町長： ありがとうございます。町民向けに出したのは4千部出したチラシで1部ずつですが、ところが4千部のうち1,250しか売れなかったのが不安に思ったのですが、ホームページの受付で一気にボンと出て町民に13日まで本屋さんで売りました。だから一斉に売れたという、ありがたい話でとにかく3千円で町内に泊まっていたきたい。それから2,500円で町内の飲食店、その他を。どう動くか、買った限りはたぶん使うでしょうから500円ですから。本当にありがたいです。

政策課長： ありがとうございます。ぜひ、ご購入されたからには地域の活性化にも繋がれば良いなと思います。その他、皆様から何かございますでしょうか。事務局からは、よろしいでしょうか。では以上を持ちまして第2回雫石町総合教育会議を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

9 閉 会